

Asia Indicators

発表日: 2023年8月10日(木)

台湾のインフレ率は頭打ちの流れに変化の兆し(Asia Weekly(8/7~8/10))

~韓国の雇用環境は幅広い年代で非正規雇用を中心に急速に悪化する兆しが出ている~

第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 西濱 徹(Tel:050-5474-7495)

○経済指標の振り返り

発表日	指標、イベントなど	結果	コンセンサス	前回
8/7(月)	(タイ)7月消費者物価(前年比)	+0.38%	+0.64%	+0.23%
	(インドネシア)4-6月実質 GDP(前年比)	+5.17%	+4.93%	+5.03%
8/8(火)	(フィリピン)6月輸出(前年比)	+0.8%	--	+1.9%
	6月輸入(前年比)	▲15.2%	--	▲8.8%
	(中国)7月輸出(前年比)	▲14.5%	▲12.5%	▲12.4%
	7月輸入(前年比)	▲12.4%	▲5.0%	▲6.8%
	(台湾)7月輸出(前年比)	▲10.4%	▲20.1%	▲23.4%
	7月輸入(前年比)	▲20.9%	▲25.0%	▲29.9%
8/9(水)	(韓国)7月失業率(季調済)	2.8%	--	2.6%
	(中国)7月消費者物価(前年比)	▲0.3%	▲0.4%	±0.0%
	7月生産者物価(前年比)	▲4.4%	▲4.1%	▲5.4%
	(台湾)7月消費者物価(前年比)	+1.88%	+1.90%	+1.75%
8/10(木)	(フィリピン)4-6月実質 GDP(前年比)	+4.3%	+6.0%	+6.4%
	(インド)金融政策委員会(レポ金利)	6.50%	6.50%	6.50%

(注) コンセンサスは Bloomberg 及び THOMSON REUTERS 調査。灰色で囲んでいる指標は本レポートで解説を行っています。

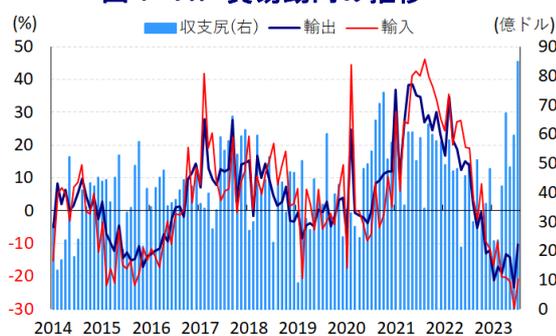
[台湾]~頭打ちの動きが続いたインフレに底打ちの兆し、輸出の底堅さを追い風に貿易黒字は過去最高に~

8日に発表された7月の輸出額は前年同月比▲10.4%と11ヶ月連続で前年を下回る伸びで推移しているものの、前月(同▲23.4%)からマイナス幅は縮小している。前月比も+15.3%と前月(同▲6.6%)から3ヶ月ぶりの拡大に転じており、中期的な基調も拡大傾向を強めるなど底打ちの兆しがうかがえる。財別では、主力の輸出財である半導体をはじめとする電子部品関連の輸出が底入れの動きを強めているほか、化学製品関連や鉱物資源関連など素材・部材に関連する輸出も底打ちの動きをみせるなど、幅広い分野で外需を取り巻く環境に改善の兆しが出ている。国・地域別でも、最大の輸出相手である中国本土向けのほか、日本向けや米国向け、欧州向けなど主要国向けに加え、アジア新興国向けなども総じて底打ちする動きをみせている。一方の輸入額は前年同月比▲20.9%と9ヶ月連続で前年を下回る伸びで推移しているものの、前月(同▲29.9%)からマイナス幅は縮小している。前月比も+9.9%と前月(同▲9.4%)から3ヶ月ぶりの拡大に転じているものの、中期的な基調は減少傾向で推移するなど輸出と対照的に力強さを欠く動きが続いている。輸出に底打ちの兆しが出ていることを反映して素材や部材、

機械製品関連の輸入は底打ちする動きをみせる一方、商品市況の調整の動きが輸入全体を下押ししている。結果、貿易収支は+84.89億ドルと前月（+59.55億ドル）から黒字幅が拡大して単月ベースで過去最高を更新している。

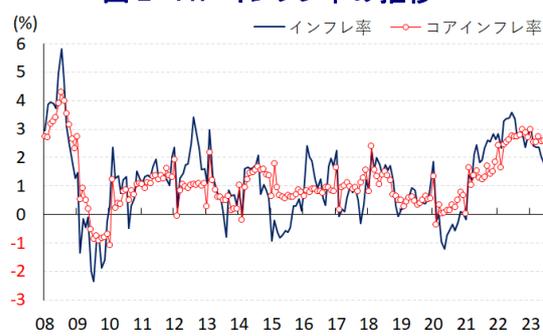
9日に発表された7月の消費者物価は前年同月比+1.88%となり、前月（同+1.75%）から加速しており、昨年6月を境に頭打ちしてきた流れに変化の兆しが出ている。前月比も+0.16%と前月（同▲0.09%）から3ヶ月ぶりの上昇に転じているものの、エネルギー価格は上昇の動きを強める一方、生鮮品をはじめとする食料品価格は下落が続くなど、生活必需品の物価の動きはまちまちの様相をみせている。なお、生鮮食料品とエネルギーを除いたコアインフレ率も前年同月比+2.73%となり、前月（同+2.60%）から伸びが加速しており、2ヶ月連続で加速するなど頭打ちしてきた流れが変化しつつある。前月比も+0.11%と前月（同+0.08%）からわずかに上昇ペースが加速しており、エネルギー価格の上昇に伴う輸送コストの押し上げにも拘らず財価格は幅広く下振れする展開が続く一方、雇用環境の底堅さを追い風にサービス物価に押し上げ圧力が掛かる動きが確認されており、徐々にインフレ圧力が強まっている様子が見えてくる。

図1 TW 貿易動向の推移



(出所)CEICより第一生命経済研究所作成

図2 TW インフレ率の推移



(出所)CEICより第一生命経済研究所作成

【韓国】～幅広い年代で雇用調整圧力が強まり、雇用を取り巻く状況は量・質の両面で厳しさを増している模様～

9日に発表された7月の失業率（季調済）は2.8%となり、前月（2.6%）から0.2pt悪化して今年1月以来の水準となっている。失業者数は前月比+6.0万人と前月（同+2.9万人）から2ヶ月連続で拡大しており、中期的な基調も拡大傾向を強める動きをみせている。年代別でも、10代以外のすべての年代で拡大する動きが確認されている上、50代や60代以上といった高齢層を中心に大幅に拡大する動きもみられる。一方の雇用者数は前月比▲9.6万人と前月（同▲4.8万人）から2ヶ月連続で減少しており、中期的な基調も減少傾向を強めるなど調整圧力が強まっている。年代別でも、10代と30代以外のすべての年代で減少が確認されている上、20代や40代で大幅に減少する動きがみられるほか、雇用形態別では非正規雇用を中心に調整の動きが強まっている様子が見えてくる。なお、雇用環境の悪化を警戒して労働力人口は減少の動きを強めている上、年代別でも20代や40代で減少ペースが加速しており、こうした状況を反映して労働参加率は64.3%と前月（64.4%）から0.1pt低下するなど、量・質の両面で雇用を取り巻く環境は厳しさを増している。

図3 KR 雇用環境の推移

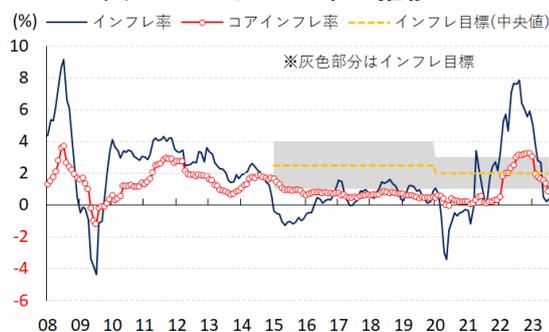


(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

[タイ]～生活必需品の物価の動きはまちまちの一方、全般的にインフレ圧力が後退している様子がうかがえる～

7日に発表された7月の消費者物価は前年同月比+0.38%となり、前月（同+0.23%）から伸びが加速しているものの、3ヶ月連続で中銀の定めるインフレ目標（ $2 \pm 1\%$ ）の下限を下回る水準で推移している。前月比も▲0.01%と前月（同+0.60%）から2ヶ月ぶりの下落に転じており、エネルギー価格は上昇傾向が続く一方、生鮮品をはじめとする食料品価格は下落するなど、生活必需品を巡る物価動向はまちまちの動きをみせている。なお、食料品とエネルギーを除いたコアインフレ率は前年同月比+0.86%と前月（同+1.32%）から伸びが鈍化しており、昨年1月以来となる1年6ヶ月ぶりにインフレ目標の下限を下回る伸びとなっている。前月比は+0.04%と前月（同+0.02%）から緩やかな上昇に留まり、エネルギー価格の上昇を受けた輸送コストの上振れにも拘らず財価格は落ち着いた推移をみせているほか、サービス物価の上昇圧力も後退する動きが確認されるなど、全般的にインフレ圧力が後退している様子がうかがえる。

図4 TH インフレ率の推移



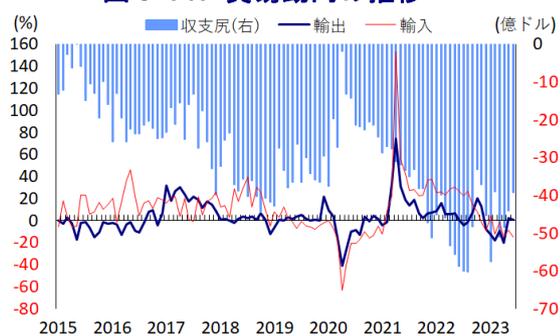
(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

[フィリピン]～電子部品関連の輸出に底堅さも、農産品や鉱物資源関連の低迷が輸出全体の重石になる展開～

8日に発表された6月の輸出額は前年同月比+0.8%となり、前月（同+2.4%）から伸びが鈍化している。当研究所が試算した季節調整値に基づく前月比も、前月に大きく上振れした反動も重なり2ヶ月ぶりの減少に転じるなど一進一退の動きをみせている。財別では、主力の輸出財である半導体をはじめとする電子部品関連の輸出に堅調な動きがみられるものの、農産品関連のほか、商品市況の調整の動きが重石となる形で鉱物資源関連の輸出に下押し圧力が掛かるなど、分野ごとに対照的な動きがうかがえる。国・地域別でも、ASEANなど周辺のアジア新興国向けに下押し圧力が掛かる動きがみられるも

の、最大の輸出相手である中国向けのほか、日本や米国向けなど主要国向けは底堅い動きをみせるなど対照的な様子をみせている。一方の輸入額は前年同月比▲15.2%と5ヶ月連続で前年を下回る伸びとなり、前月（同▲8.8%）からマイナス幅も拡大している。前月比も2ヶ月ぶりの減少に転じている上、中期的な基調も減少傾向で推移するなど輸出と対照的に頭打ちの動きを強めている。輸出と対照的に電子部品関連の輸入に下押し圧力が掛かる動きがみられるほか、電気機械関連も頭打ちの様相を強めている上、商品市況の調整の動きも輸入額の重石となるなど、全般的に輸入は頭打ちしている。結果、貿易収支は▲39.18億ドルと前月（▲43.96億ドル）から赤字幅が縮小している。

図5 PH 貿易動向の推移



(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

以 上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。